

地球温暖化や資源価格の高騰で大変な世の中になりそうです。一体どうしたら良いのでしょうか。

市民にできることの第一は、暮らしに関係する資源の消費を減らし、エネルギー利用にもっと賢くなることです。

生活に直結する資源で最大のものは住宅です。工法によって差がありますが、1戸当たりの重さは50トから200トあります。

これを建て替えると、1世帯が出す生活ゴミのざっと100年分の重さに相当する廃材が出ます。省資源の基本は住宅の寿命を最大限引き伸ばすことです。

今のままでは住みにくいなら、住宅改修が有効です。壊さず快適に住み続け、かつ温暖化を防ぐ方法を考えましょう。

常識的なリフォームに省エネ対策を加えることを是非お考えください。窓や扉の断熱化を手始めに、天井・外壁・床下の断熱改善も実現して欲しいです。

給湯器やエアコンなどの設備は、予算とのバランスを取りながら熱効率の良いもの、環境への害が少ないものを選びます。

これで何割かのエネルギーは節約できるでしょう。しかし、CO₂の排出を本気で激減させるには、太陽エネルギーの力を借りることが不可欠です。

すでにご紹介した太陽光発電や

太陽熱利用で、CO₂排出を大きく減らすことができます。

建物の対策だけでなく、周辺を緑化する、雨水を利用する、生ゴミを自宅で処理する、なども自ら環境を守る方法です。

これらの要素を取り入れたのがエコ住宅。わが家の例を紹介します。築27年の鉄筋コンクリート造の住宅を9年前に購入し、エコ改修しました = 写真。

屋根の上には太陽光発電モジュ



ールと温水器が見えます。煙突は薪ストーブのもの。窓は二重のガラス又は断熱雨戸付きです。

屋上テラスはウッドデッキ敷き、周囲に植栽ゾーンを設けて緑化しました。散水にはタンクに貯めた雨水を使います。

お蔭様で普通の便利快適を享受しながら、最近の年間光熱費は2万円台。CO₂排出量は控えめに見ても通常の7分の1程度に。

温暖化を防ぎながら満足のゆく住生活が可能なおことを実感しています。

(おわり)